

令和7年度 上田市立 塩田中学校 学校評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)	
1 充実した学習を積み上げる 2 たくましい心身を育てる 3 正しい道義心を伸ばす 4 豊かな心情を培う ～考える・鍛える・慈しむ～	ふるさとに愛着と誇りをもち、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間 ～「あいさつ」「清掃」「合唱」を中核として～	
	今年度の重点目標	
	1	生徒が安心して生活できる学校づくり
	2	目標に向かって努力できる生徒の育成
	3	地域との連携＝開かれた学校

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	学習指導	協働的に学び、自己の考えを深めることができる生徒	「学習問題」「学習課題」が提示され、ねらいをもった授業展開がなされているか
			個で学ぶ時間に加え、対話的・協働的に学び合う時間が設定されているか
			授業の終末では、自己の学びを自分の言葉で表現する「振り返り」の時間が設定されているか
			生徒が「分かる・できる」を実感できる探究的な授業になっているか
	生徒指導	目標に向かって、自ら計画、実施、改善できる家庭学習	期限を定めた課題の提示やテスト前の自主学習期間を通じて主体的に家庭学習に取り組める環境がとられているか
		適切な生徒理解	各種アンケートや教育相談日を活用し、個々の良さを認めながら生徒一人一人との対話が行われているか
		生徒に寄り添った支援	状況をふまえた適切な支援が行われているか
	生活指導	友や地域とつながる挨拶	生徒が自ら友や地域の方々に進んであいさつできるような支援ができていますか
		自らを磨く無言清掃	生徒が自ら清掃場所を見つけ、時間いっぱい無言で行えるような支援ができていますか
	教育課程	心を響かせる歌声	生徒が主体的に合唱活動に取り組めるような支援ができていますか
		個と集団の成長を図る生徒会・部活動	生徒の願いを取り入れた生徒会・部活動になっているか
学校運営	地域との連携	しおだっ子応援団や学生ボランティアとの連携	環境整備や学習支援、地域交流など積極的なボランティアの協力が得られているか
		「地域」を中心に据えた探究的な総合的な学習の時間	地域の協力を得ながら探究的な活動を行っているか
		開かれた学校づくり	学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校からの情報が発信できているか

総合評価					
年間を通じて、しおだっ子応援団や大学生ボランティアなど、多くの地域の方々に協力を得ることができている。様々な地域の方々との交流を通じて、さらに生徒自身が多くのことを学び、ふるさとへの愛着と誇りをもつことにつながるようにしていきたい。また、「あいさつ」「清掃」「合唱」が中核となるよう、それぞれに重点的に取り組む活動を計画し、学校全体で取り組む時間を設定することができた。					
成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
●多くの地域の方々に様々な面でご協力をいただき、地域との連携をとりながら日々の教育活動を行うことができています。 ●活動の目標や目的は何か、そのために必要な手段や手立ては何であるかを生徒が考える時間を大切にしていこう。		○			●授業だけでなく、生徒会や学級活動、部活動を通じて生徒が主体的に取り組む姿を大切にしたい。そのために、生徒の願いを引き出し、目標に向かっての取り組みを生徒とともに考えていけるような支援を心がけていく。

成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
●全ての生徒が「分かる・できる」授業を目指し、多くの授業で「学習問題」「学習課題」の提示、振り返りの時間の設定が位置づけられている。また、授業において「他者との学び合いの時間」を設定する意識も高まってきている。 ●生徒の自主性を育みながら、自ら目標に向かって計画、実施、改善できるような家庭学習の方法を日々の授業と絡めながら考えていく。		○			●授業のユニバーサルデザイン化、対話的・協働的な学びについて教師全員で実践し、情報を共有しながら、日々の学習指導につなげる。 研修例：お互いの授業を見合ったり、意見交換をしたりする場の設定、各種研修への参加など ●各教科において、生徒の目指す姿、生徒が身につけるべき力を明確にして、生徒が目的(目標)をもって学習に取り組むことができるような学習指導を行い、家庭学習と繋げていく。
●毎月のアンケートやアセス、教育相談を活用しながら生徒の実情を把握するように努めている。また、生徒一人ひとりの状況に応じた支援・指導が行えるよう、チーム体制で取り組むことを大切にしている。		○			●引き続きアンケート等の生徒の記述や思いを大切にしていこう。また、状況を正確に把握し、適切な支援・指導を素早く行えるよう、学校全体で生徒指導に取り組んでいく。
●生徒会が中心となり、よりよい塩田中を目指し、学校生活の課題改善に向け様々な活動を行っている。地域とつながる挨拶は今後更に力をいれていきたい ●生徒が主体的に合唱活動に取り組めるよう、外部から指導者を招き、音楽集会を設定したり、授業で合唱指導をしていただく時間を設けたりした。		○			●生徒の声から上がってきた課題改善につながる生徒会活動を大切にして、学校生活の中心に位置付けていく。銀杏祭前に行った「挨拶週間」のような活動を活動終了後も日常生活の中で意識を高めて習慣化できるよう、生徒会を中心としながら教員も積極的に関わっていく。
●地域の方々と連携をとりながら様々な支援をいただき、教育活動の充実が図られている。 ●「総合的な学習の時間」のカリキュラムを見直し、文化祭でも学年の発表を位置づけることで3年間の見通しをもちながら、学習に取り組んでいる。		○			●お互いの取り組みについて理解し合いながら、多岐に渡る地域の方々との連携を深めていく。また、学校の活動や取り組みの様子を周知できるよう、学校ホームページや各種通信等の充実を図りながら、発信を継続していく。

○ 評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった